

## 宇部市健康づくり推進審議会（令和3年度第2回）開催にかかる報告書

### 1 日時

令和3年（2022年）1月18日（火）19時～20時

### 2 場所

宇部市総合福祉会館 4階 大ホール

### 3 出席者

(1) 審議会委員 14人

(2) 事務局 9人 佐々木部長、加生次長、神代課長、伊藤副課長、柴崎係長、  
奈須係長、嶋渡係長、武田、藤本

### 4 配布資料

(1) 第四次宇部市健康づくり計画（素案）

(2) 事前意見

### 5 概要（会議録）

(1) 会長及び副会長の選出

会長として黒川委員を、副会長として廣田委員を選出。

(2) 議題

第四次宇部市健康づくり計画の素案について

(3) 会議録

#### （事務局）【説明】

- ・「第四次宇部市健康づくり計画（素案）」について
- ・「事前意見と事務局の考え方」について

（委員）今回、初めて計画の策定に関わった。市民目線による計画ということだが、どのように市民に周知するのか。また、計画書はどのようなところに配布されるのか。

（事務局）計画書は、関係機関に直接配るとともに、公共施設等に設置し市民に周知する。冊子は80ページほどのボリュームがあるので、これから概要版（ダイジェスト版）を別途作成し、市民の皆様にも読んでもらいやすい形で配布したいと考えている。

（委員）概要版を各家庭に配布するのか。

（事務局）全戸配布は今のところ考えていない。なるべく市民の皆様目の触れるようなところに置きたいと思っている。

（会長）冊子とダイジェスト版、それぞれどれくらいの発行部数になるのか。

(事務局) 本日は数字を持ち合わせていないが、計画書は業者に委託して印刷するので、委託費の範囲でこれから印刷部数を調整する。できるだけ多くの部数を印刷したい。

(委員) 素案には、市民の取組、地域の取組、市の取組があり、盛りだくさんのメニューとなっている。市の取組が色々書いてあるが、第三次計画に比べて第四次計画の方が、ボリュームが多い。全ての取組を保健センターが行うのか。

(事務局) 市の取組については、現実的に実施できるものを挙げている。健康増進課がメインになって取り組んでいく必要があるが、それだけではない。例えば、部内にも色々な担当課があり、また、こども・若者応援部といった部もある。全庁的に取り組んでいくことで、市として健康づくりの推進に関する役割を果たしていく。

(委員) 全市を挙げて取り組んでいくため、他の主体では何か考えているのか。

(事務局) 様々な健康づくりに関する取組に協力していただける人材として、例えば、健幸アンバサダーのように口コミで健康情報を広げる役割を担う人材を育成している。そのような人たちや関係機関の皆様にも協力していただきながら、全市を挙げて健康づくりを推進していく。

(会長) 今後、審議会の開催予定はあるか。

(事務局) 本日頂いた意見を踏まえて素案の修正を行う。今後の予定だが、議会に素案について説明した上で、1月31日から2月21日までの間に、パブリックコメント手続きにより市民からの意見を募集する。その後、市民からの意見に対する市の考え方や対応をまとめてウェブサイトなどで公表する。次回の審議会は、2月以降に開催する予定としている。日時は検討させていただき、できるだけ早く案内させていただく。

(会長) その他に意見はあるか。

【委員意見なし】

(事務局) 日頃から様々な場面で皆様にはお世話になっている。今回の健康づくり計画は、御覧のように本当に盛りだくさんになっているが、先ほどの御意見のとおり行政だけでできるものではない。今後も関係者の皆様と協議を持ちながら進めていければよいと考えている。本日は、これだけのボリュームの素案でありながら、資料配布から会議の開催までの期間が短かった。先ほどもお伝えしたように、パブリックコメントでも皆様の意見をしっかりと受け止めたい。お気づきの部分、もう少し修正したほうがよい部分があれば、意見を頂きたいと思っている。

(閉会)